

ワカバ会創立80周年記念総会にて挨拶する笠原会長

80周年記念総会特集

去る6月8日（日）、ワカバ会創立80周年記念総会が品川プリンスホテルにて開催されました。

総勢447名もの皆様にご出席いただき、ともにワカバ会の長い歴史を顧み、その発展を願って大盛会のうちに幕を閉じました。

（関連記事1～5ページ）

わかば
ワカバ会
64号
東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話（03）3451-0227
FAX（03）3452-4590
E-mail:
t-mita@wakaba-kai.org
http:
//www.wakaba-kai.org/

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭日

社団法人 ワカバ会 創立80周年記念総会プログラム

一　開会　　司会　高26　吉沢　百合子
一　校歌斉唱
一　会長挨拶　　高15　笠原　俊也
一　祝辞　　三田高校校長　須藤　勝
一　議題
　平成19年度決算ならびに事業報告　　高29　平山　孔嗣
　監査報告　　高17　寺西　千鶴子
　平成20年度予算ならびに事業計画　　高29　平山　孔嗣
一　閉会

記念イベント

1　都立三田高等学校生徒による合唱
2　口演「東北弁・金明竹」　柳家　小袁治（高19　関根　誠）

～懇親会～

会長挨拶　　高15　笠原　俊也
来賓祝辞　　三田高校PTA会長　小原　葉子
乾杯　　三田高校校長　須藤　勝
福引
閉会挨拶　　実行委員長　高8　山口　謙一郎

80周年記念総会を終えて

ワカバ会会長　笠原　俊也（15－4）



六月八日、ワカバ会は創立80周年記念総会を品川プリンスホテルアネックスタワーで開催いたしました。

21世紀最初となる記念総会は、約四五〇名の多数の会員客員の皆様が参加され、高校26回の吉沢百合子さんの司会で総会及び懇親会も整然と進行し、特に新しい試みとしておこなわれた在校生諸君の合唱や柳家小袁治さん（高校19回）の落語も素晴らしく、新旧会員が一体となり懇親会も大いに盛り上がりました。

これも、会員の皆様のワカバ会に寄せるご支援の賜と感謝致しております。

ワカバ会は、皆様のご協力を得て、これからも90周年、100周年に向かって力強く活動していきたいと思います。

総会報告

ワカバ会創立80周年記念総会が、六月八日（日）十一時より十五時まで、品川プリンスホテルで開催されました。

出席会員四百二十名（うち、ホームカミングデー該当会員百八十四名）、客員の先生方二十七名のご出席をいただき、広い会場で、盛大に行われました。

吉沢百合子氏（高26回）の司会により開会。はじめに第六高女と三田高校の両校歌を斉唱ののち、笠原会長より、ワカバ会が戦前戦後を通して、歴史ある同窓会として様々な活動をしており、現在、社会の各分野で活躍する十代から九十代までの会員は約二万一千名。今後も、90周年、100周年を目指して、会と母校の更なる発展のために、会員みんなで力を注いでいきたい、との挨拶がありました。

次に、名誉会長　須藤三田高校校長から、お祝辞をいただきました。

続いて議事に入り、平成十九年度事業報告ならびに決算、平成二十年度事業計画ならびに予算案が、満場一致で承認されました。

なお、総会の議事録、総会・懇親会の写真は、ワカバ会のホームページでご覧になれます。

師弟の深い絆

三田高校元校長　岡本　裕之

80周年記念総会会場に、溢れるばかりの出席者を見て、ワカバ会の着実な活動の歩みを感じました。

当日、品川駅で待ち合わせていた同窓生が、手を取り合って再会を喜びあっていた姿が目に浮かびます。

在任していた時、いつも誇りに思っていたことは、卒業生の素晴らしい活躍ぶりでした。記念講演の柳家小袁治さんの落語は正に圧巻でした。

最も心に残った光景は、旧教職員が紹介されると会場から大きな歓声と拍手が送られたことです。この歓声と拍手から、在校当時に教師と生徒との絆が、いろいろな形で深められていたことが想像できました。改めて本校の良き伝統を見させていただき感動しました。

また、新制服の三田高生の合唱も良い演出で、校長先生に感謝いたします。

収入	3,193,000
会費収入	3,121,000
祝金	72,000
支出	7,624,363
会場パーティー費用	6,132,840
会員記念品	481,740
賞品代	295,000
通信費、その他	714,783



現役のアナウンサーらしい、見事な司会で会を進めてくださった吉沢百合子さん（西田）（26－6）

今後ますますのご発展を

元事務長　吉野　明

平成元年から七年間在職した事務長です。80周年記念総会・懇親会に出席させて頂き、参加者の多さと、司会者のさわやかな進め方が特に印象的でした。総会では隣の第六の3回生の方とお話ができ、懇親会では同席の先生に、教え子はいま何歳ぐらいですかと聞きますと、七十歳以上とのこと。今後も皆さんお元気で、ワカバ会の行事に参加出来るといいなと思いました。



写真左から、揚村洋一郎（前校長）、岡本裕之（元校長）、緑川佑介（元教頭）、そして吉野明（元事務長）の諸氏

80年を越えて、新たな出発

ワカバ会名誉会長
三田高校校長
須藤　勝



去る六月八日には、ワカバ会80周年記念総会・懇親会が品川プリンスホテルで盛大に執り行われました。

私が生まれる以前に卒業された第六高等女学校の方々のお元気なお姿も拝見でき、改めて本校校長の責任の重さを強く感じた次第です。

当日は本校生徒により、新しい応援歌のご披露もでき、まさに三田高校今昔のよきひとときになったと思い、嬉しい限りです。

それに致しましても、同窓生各位の旧交を温めるお姿は、在学中を彷彿とさせるとても和やかなものでした。「今」がやがて過去になる時の重みも考えさせられる時間となり、それだけに「今」を預かる者としての務めを一層深く考えさせられました。

本当にワカバ会の皆様おめでとうございます。益々のご発展を祈念します。

記念イベント

コーラス

三田高校教諭（音楽）　仲田　賀一

先日は、ワカバ会創立80周年記念総会でコーラス部の演奏を披露させていただき、ありがとうございました。

総会に参加した生徒は、「結構広いし豪華だな、こんな所で歌って良いのかな」「すごく緊張したけど楽しかった」「熱心に聞いてくれて嬉しかった」という感想を話してくれました。



また、口には出していませんが、大勢の卒業生の前で歌ったことで、三田高校の歴史の深さと伝統の重さというものを感じていたように思われました。

21－3　丑山　孝枝（鈴木）

在校生のコーラス部が壇上に並んだときに新鮮かつ不思議な感じがしたのは、混声合唱だったせいであろう。実は私も高校の三年間はコーラス部に所属していたのだが、当時の部員は女子のみ。白珠祭で『りんごの実る頃』というオペレッタを上演したときには、どうしても男声（テノール1名とバス1名）が必要で、校内中を探しまわった思い出がある。

さて、仲田先生の指揮による19名の生徒さんたちの合唱は、新曲の応援歌『我らが三田高、獅子奮迅』をはじめ、『ジェリコの戦い』、『グローリア』など6曲が披露された。厚みのあるやわらかな歌声に聴き入ること、しばし…。先生のご指導のもと、男子、女子部員が力（声？）を合わせて日々楽しく練習されている様子を想像し、大いに感動したのだった。

落語

8－2　中垣　俊二

柳家小袁治師匠の落語は初めてでしたが、聴くほどに咄にひきこまれ、いつのまにかその雰囲気にのみこまれていました。



席も、前の方でしたので、師匠の身ぶり手ぶりがよくわかり、パワフルでした。

高校時代の思い出話の、女子が多くて男子が遠慮がちなところなんか我々の世代と一緒で、その分鍛えられた？という話等、興味深く聴いておりました。

落語と思い出話を織り交ぜて、観客を魅きつける話術は見事なものだと感じ入りました。また機会があれば師匠の咄を聞きたいと思っています。

19－3　相川　雅子（中尾）

久し振りに関根君の落語を聞き、自ら落語部を立上げ、豊かな表情で笑わせてくれた43年前の白珠祭を懐かしく思い出しました。普段は真面目な彼が落語では別人のようにおもしろかったのです。

最短で真打ちになり、今では有名な寄席でトリを務めているとも聞いてます。今回も熟練した話ぶりでみんなを楽しませてくれました。

同期生一同、伝統芸能の担い手としての益々の活躍をお祈りします。

37－4　大野　英祐

柳家小袁治さんの口演は、古典落語を部分的に散りばめながら、ご自分の出生立身と高校時代の思い出の話であったように思います。しかし、常に笑いの要素が散りばめられていて、楽しくひと時を過ごさせて頂きました。

特に、自分の高校時代、将来何の職業に就こうか、若者には無限の可能性があるなんて、本気で思っていましたが、今となってみれば、父の職業（税理士）を継いでおります。

80周年記念総会を無事終えて

記念総会実行委員長　山口謙一郎（8―1）



本年六月八日に開催されましたワカバ会80周年記念総会は盛況裡に終り、初期の準備段階より関って来た関係者の一人として安堵しております。

当初四〇〇名の見積を取りましたが、同窓会に熱心な第六高女卒業生の高齢化、三田高三十回前後以降の卒業生の同窓会離れ、記念総会会費金額などの条件を含めて三〇〇名程度の参加が限度かと危惧しましたが、ご来資も含めて四四七名の皆様にご参加頂き、心配は杞憂に終わりました。

受付での多少の手違い等も有りましたが、卒業生の柳家小袁治さんの落語と現役三田高生による合唱を企画したイベントも大好評を博しました。

ご参加下さった会員の皆様、総会運営に多々ご尽力頂いた理事の方々、そして会場選定の初期段階から終了まで長期間携わった事務局の皆様に厚く御礼申し上げます。

懇親会

13―オ　一瀬　和子（蒲瀬）



ワカバ会記念総会に元気で出席出来た事に心から感謝して居ります。

懇親会も初めのうちは静かにお食事でしたが、だんだん会場全体が賑やかに盛り上り、同窓生はいいものだなァと思いました。

隣の席には暮しの手帖社主の十回生大橋鎮子様で九十歳近いお年ですが、毎朝九時に出社され社務をこなされるとの事！驚きました。

同席の方達も皆若く元気で、負けずに頑張りましょう!!



今回出席者のうちで最高齢（95歳）でいらっしゃる澤田恭子さん（西村）（3―C）と旭けいさん（中）（3―D）に、敬愛の気持ちをこめて花束を贈呈する三田高校生

ホームカミングデー

2―2　長澤　枢美葉（田中）

今年六月ワカバ会80周年の集いがありホームカミング学年として三十数名が集まり、卒業以来六十年ぶりの旧交を暖めた。思えば昭和二十年第六の二年生、空襲で日本各地に疎開した。戦後一人二人と学び舎に戻り再会を喜びあった。また、新しい友達の中にはソビエトからの引き揚げの人もいた。新しい希望の下、第六は戦争中も英語の授業を続け、戦後いち早く第二外国語を選択して学ぶ事が出来た事。今感謝の気持ちでいっぱいです。これからも戦争を体験し生きぬいた強い絆の輪を大切に生きていこう。



第六 11 回生

▼ 第六 22,23 三田 1,2 回生





▲ 三田 10 回生

10―3　小山　勇三

我々高校10回生は東京タワーが建設され、「三丁目の夕日」の時代に三田高校を卒業して50年になり、丁度良い節目にもなりました。総会71名の参加を得て、大盛況の中、二次会を品川インターシティー内「プロント」を貸し切にしてもらい、61名の生徒と大角先生、寺尾先生、吉本先生、元木先生の

ご参加を賜り旧交を温めることとなりました。

皆さん会話が弾み、時間の経つのも忘れ十分に楽しんでいただきました。その折に撮った写真は三ツ木君がバックミュージック付のDVDにまとめ、二次会参加者全員に送付してくれました。総会、懇親会に参加、50年前にタイムスリップして盛り上がったプロントに於ける二次会、DVDによって当日を見直すことが可能になり、二重、三重の思い出が皆様の心に宿ったワカバ会80周年総会でした。

20—3　越山由美子（安西）

卒業以来ご縁のなかったワカバ会総会に、80周年、そして二十回生のホームカミングデーというお触れに心動かされ、老若男女数百人の人波にワカバ会の歴史を、母校の新しい制服の短いスカートに時代の変遷を感じ、久しぶりに歌う校歌が懐かしく、関根誠君（柳家小袁治師匠）の落語に涙が出るほど笑い……さまざまに心が揺れた総会でした。



三田20回生



三田30回生

30—1　唐澤　栄子（島野）

30—4　灘　祐子（長楽）

忙しい年代でもありそれ程多くの出席者がいないのではと恐る恐る参加したのですが、嬉しい誤算で、数多くの友と卒業アルバムを広げながら話しているうちに、どんどん当時の記憶が蘇りすっかり制服姿の高校生に戻って思い出話に夢中になりました。当時以上にパワーアップされた森本先生とお話しすることも出来ました。ホームカミング該当学年ということで記念撮影もあり、「30年後の笑顔」をアルバムに加えることができた一日でした。

40—3　須藤　純子（飯田）

今年は高校を卒業して二十年、そしてワカバ会も80周年を迎えるということで、沢山の同窓生が集まるのではと友人に声をかけ、出席しました。当日は今が一番忙しい年代なのでしょうか、出席者は少なかったですが、皆卒業当時とあまり変わらず、高校時代、そして近況をホテルのお料理を楽しみながら報告しあいました。和気あいあいの中、また十年後の再会を約束し、別れを惜しみながらのお開きとなりました。



三田40回生

80周年記念演奏会のために

――10月30日、於　紀尾井ホール――

軽井沢山荘コンサートでコーラスの練習成果を披露

桐生郁子さん（4—1）が指導する、ワカバ会軽井沢山荘でのコンサートは、今年で四回目を迎えましたが、今回は特に十月末に記念演奏会が控えているため、女声三部合唱に出演する皆さんが、練習のために参加し、コンサートでその成果を披露しました。

第4回山荘コンサート開く

今年も夏たけなわの8月2日（土）夕、ワカバ会軽井沢山荘で桐生郁子さん（高4回）主宰の若葉の会会員によるコンサートが開かれました。今回はさらに10月30日のワカバ会創立80周年記念演奏会のために結成された同窓生合唱団が合宿練習の成果を披露して、当日の宿泊客を中心にした聴衆を喜ばせました。

先ず若葉の会会員による独唱で、明治、大正、昭和の懐かしい唱歌や童謡、花、埴生の宿、浜辺の歌、アマリリス、サッちゃんなどが歌われました。次いで同窓生14名の女性3部合唱でロッシーニの「信仰、希望、愛」が原語で、情感をこめて歌い上げられ、演奏会への準備が着々と完成しつつあるところを示しました。

（平成二十年八月二日実施）



私の近況

今回は卒業回数が第六末尾1、2三田末尾0の方にお願いしました。

第六旅行記

11―イ　児玉　静（市川）

昨年思いがけぬ手術にて一命を取戻しましたが外出ままならず、手芸書道読書等に支えを見出しています。

戦前に学生時代を送りましたので修学旅行は一大イベントでありその行事を旅行記に纏める事が通例になって居りました。二年は日光、三年生は箱根、四年生は東北七日間、五年生は近畿九州一周、瀬戸内海を渡り大和を巡った十二日間の長旅、新幹線もなく鈍行での思い出深いものでつい引込まれ読み耽けりました。こんな旅をさせて下さった丸山校長先生は当時公立校乍ら室内プール迄設け、体育にも新しい器具を揃え、女子にも社会性を養わねばと毎月社会見学に連れ出し、又クラス毎に理事を選び理事会での意見を行事運営に反映させたり、勉学制度の刷新を試みられましたので、明るく伸びやかな学生時代を過ごせ、その校風に育った事は誇りです。



いまを想う

22―イ　鈴木　幸子（古平）

昭和22年戦後台湾より引揚げ転校書類を提出「内外の学校差により、一年遅れ。」との事。特別に編入試験をお願いした結果、無事遅れる事なく、五年イ組鞍馬菊枝先生の組に迎え入れて戴きましたのでその後の進路も旧制のまま学業を修了できました。忘れてはならぬ事と感謝して居ります。

現在お陰様で夫と共に国内外のクルーズ等楽しんで居ります。潮吹く鯨を左右に、海豚（いるか）の大群の中を航き、喜望峰・ホーン岬のケープホーナーにもなり、モアイにも挨拶、ナスカの地上絵、小鳥の声と堆肥の匂う運河。七年前と較べた氷河の変貌、ブラジルに残っていたかつての日本婦人の風情を感じさせるガイドの佐藤さん、等々、南北両半球、又は北半球だけ、大航海時代の三コースそれぞれに思い出は尽きません。特に06年6月3日タイタニック号遭難地点での長い汽笛献花、同7月8日アッツ島キスカ島沖での汽笛吹鳴。安らかにあれ、と冥福を祈り、今日の幸福を感謝すると共に心に刻まれる事柄でした。



今、簡易裁判所判事として

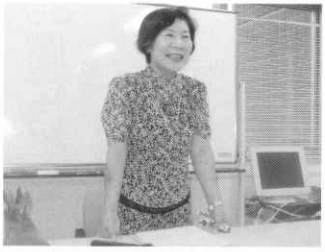
10―4　藤元由紀子（大橋）

家庭裁判所調査官として四十年近く少年非行と夫婦関係調整など家庭内のもめ事の解決と取り組んできました。

その間、単身赴任も何度か経験した後、六十歳直前に簡易裁判所判事として再出発して九年目です。法律中心の世界に戸惑いながら主に敷金返還、交通事故の損害賠償等、身近な民事事件を担当しています。代理人（弁護士）の付かない本人訴訟が多いので、法律用語でなく、わかりやすい言葉で語りかけ、話をじっくり聞くよう心しています。司法委員、調停委員等、民間の方々のお力添えもいただいています。

プライベートでは、寸暇を惜しんで社交ダンス、水泳、俳句等のお仲間との交流を楽しんでいます。

先の同窓会でお会いした吉本先生のように九十歳を過ぎても、若々しく年を重ねたいものですね。



古美術商三代目

20―5　古角　博治



父の仕事の手伝いから三五年余り、還暦が近くなり同級生の間では定年の話題が多くなりました。私の仕事の古美術の世界では九十歳過ぎて活躍の業者も居り未だ中堅と言ったところです。

古美術の仕事は、売買はもちろん鑑定修理など多岐に渡ります。中でも私が主に扱う茶道具では、茶会の道具の取り合わせの相談が大変難しく遣り甲斐があり、面白いものです。物の真贋や時代背景・用途などを考慮し取り合わせていく過程は、絵画制作や作詞作曲などの創作活動に似ています。

古美術やお茶の世界は、取り付きにくい物の様に思われがちですが、昨今敷居は低くなっております。グローバル化が叫ばれている今こそ、日本の文化を振返り日本人としてのアイデンティティを確立すべく多くの人に古美術や茶道に興味を持って貰える様に商売に精を出しているこの頃です。

カービングに魅せられて

30―1　多胡　伸子（平林）

夫の転勤でタイへ行ったのがそもそもの始まりでした。せっかくだからとタイの文化を何でも吸収しようと始めたタイ語は元よりタイ料理・楽器・ダンス等生まれて初めて接するものばかりでした。その中で一度も飽きず四年の滞在中ずっと続けていたのがこのフルーツカービング。そもそも宮廷料理の飾り付けから発達したこの技術は専用ナイフ一本でスイカやメロンに大輪の花を彫っていきます。普段見慣れたフルーツが驚きの美しさに変身。目で楽しんだ後は勿論美味しく食す事ができるのでちょっとしたおもてなしに最適です。この素晴らしい文化を日本へ普及させる為、現在私は都内の数多くのカルチャースクールにて指導に当たっており着実に実を結びつつあります。更に年数回はタイを訪れ、相変わらずこのカービングにはまっています。



木のブリーダーです

40―6　斎藤　央嗣



神奈川県で林木育種という樹木の品種改良に取り組んでいます。品種改良というと農作物や美しい花を想像されるかもしれません。相手はスギ・ヒノキ、花粉症対策のための育種を行っています。

これまでにスギでは、平成10年に花粉を出す雄花が少ない花粉の少ないスギを選抜し、平成16年には県内産スギ苗を全量花粉の少ないスギに転換しました。ヒノキも全国に先駆け平成16年に花粉の少ないヒノキを選抜、平成21年春には約半数が花粉の少ないヒノキに転換できる見込みです。

さらに平成16年に花粉を出さない無花粉スギを1本を選抜し実用化試験を進めています。この無花粉スギは平成22年に神奈川県で実施される全国植樹祭において天皇陛下によりお手植えされることになっています。

助産師

50―3　平野　藍

助産師になって七年になります。私の新人の時に生まれた赤ちゃんが小学生かと思うと、あっという間に感じ、子供の成長は驚異的だと感じます。

赤ちゃんと妊産婦さんの持つ不思議な力に、そして命の誕生に立ち会うことができ感動しながら過ごしています。

その反面、流産や死産など悲しく辛いこともあります。産婦さんや赤ちゃんが急変することもあり、命と隣り合わせで、二つの命を預かっているという責任と緊張で押しつぶされそうになることもあります。そんな時、妊産婦さんやご家族の〝ありがとう〟という言葉、退院した方が元気な姿で会いに来てくれたり、妊産婦さんと赤ちゃんの持つ神秘的な力を目の前で感じ、パワーをもらって元気になります。



これからも女性と家族を支援して、命の大切さを伝えていければと思っています。

私の大学生活

60―6　福智　葉津希

三田高校を今春卒業し、ただ今大学一年生です。大学はとにかく人が多いです！　三田高校は都立高だから東京都に住んでいる人しか通ってませんでしたが、大学は東京都出身以外の人も、外国の人もたくさんいます。東京に長いこと住んでいる私は自分とは違う背景をもった人と話して、初め、ものすごくカルチャーショックを受けました。自分の考え方がある一部の地域・人の中でしか通用しないことを、授業とは違う意味で、最初に大学で学びました。

今やりたいことは旅行です。単なる観光もしたいけれど、見聞を広げる為に国内外問わずいろいろな所へ行ってみたいです。

大学では新聞サークルに入っています。企業新聞にも負けないくらいの内容なので日々勉強です。楽しいです。



ワカバの輪

卒後70年クラス会

11―オ　速水　芳子（辻岡）

11回オ組は、自画自賛したいクラスです。卒業後当番二名、都内はもとより横浜、東京湾上と楽しい集りを持って来ました。80歳になる前に、平塚愛子様が御心配下さって、東郷神社の隣の水交会なら毎年予約が出来るとの事で、日時も遅生れ早生れも同じ年になる3月30日に決めたらと申し出て下さり、2000年3月30日に27名が集りました。桜の美しい和風の池を目前に賑やかに楽しい79歳の集りでした。三年位は同人数が集れました。出欠の葉書の近況を回し読みしながら話がはずみます。今年の案内の葉書は豊住美枝様が、毎年の平塚様のお手数を思って書いて下さった由、お心遣いが嬉しかったです。最近三年程は10名前後の出席で今年は8名でその中5名は薬を何も飲まれていない由、流石です。

来年の満88歳の集りが待たれます。



三田高校20回生の総会と二次会

20―3　越山由美子（安西）

高校卒業後四〇年。ワカバ会創立80周年。二〇回のホームカミングデーと、二〇の倍数に縁のある今年のワカバ会総会に出席しました。懇親会には二〇回生のテーブルが四卓。四〇人弱の同級生と歓談し、昔お世話になった大角、寺尾、高部各先生にもご挨拶ができて楽しい時を過ごしました。

二次会は何と、プリンスホテルの地下にあるカラオケルーム。人数の関係で二部屋に分かれて、カラオケならぬ自己紹介のためにマイクを握り、まず一時間。「ハイ、半数の人の交代！」の声にぞろぞろ入れ替え。また新たに一時間の自己紹介。〝オーイ、ここはカラオケルーム。歌わなくてどうする？〟という部屋の主の声が聞こえそうな中、皆の頭の中は高校時代にタイムスリップ。こんな使われ方もあるんだね、カラオケルーム！　おかげで、来年還暦記念の同期会開催も決まりました。でも最後に皆で「青春時代」の一曲くらい歌ってもよかったかな…？

二〇回生の皆様、また来年会いましょう。

ホームカミングデーがきっかけに

9―3　佐々木美代子（庄司）

昨年五月のホームカミングデーに九期三組で七名集まり、会終了後みんなでお茶をした時、来年は卒業後五十二年、古希にもあたるし、クラス会をしようという事になり卒業以来初めて集まりました。皆様への連絡はワカバ会の方が親切に対応して下さり感謝です。

当日十七名集まり、皆様七十歳とは思えぬ程若々しくお元気でした。



現役でお仕事をしている方々、ボランティア活動や趣味に打ち込んでいる方々など。おひとりずつ話される近況に耳を傾けながら、お互いに励まされたり、エネルギーをもらったり。高校時代の友達っていいものだと感じました。そして五十年間という月日のそれぞれの生活を思うとき感慨深いものがありました。

五十年振りの昼食会はあっという間に過ぎ、その後場所を移して再び話にはなが咲きました。

第2回フォークソング部100人OB会

40―2　安藤　麻子（島）

去る六月二十一日、上は創設メンバーである初代から下は今年二十歳の三十六代までが集まりOB会を開いた。若い人には初めての、その他には十五年ぶりの会だ。初代会長のビデオレター上映、有志による演奏、学年毎の代紹介と歓談する暇も無く会は進み、最重要イベント「シングアウト」へと突入していった。自分が生まれた頃青春時代を過ごした先輩、自分の青春時代にはまだ生まれていなかった後輩と共に大勢で同じ歌を歌うなど、望んでもなかなか叶うことではない。皆の心からの笑顔を見て幹事として嬉しく思うと同時に、これまで協力してくれた先輩後輩と今楽しんでくれている皆に感謝しつつ自身も楽しんだ一日だった。

今後も回を重ねその名の通り常に百人が、いやそれ以上の人数が楽しく集うことを心から願っている。



ワカバ会行事に参加して

第15回ワカバ会マージャン大会

14―オ　兵頭　英子（岩田）

十五回を迎えた同窓会のマージャン大会は、今回も晴天に恵まれ、広き会場一杯の人に溢れ盛会でした。会を重ねる毎に顔見知りの方々もふえ、楽しく和気あいあいの雰囲気にすっかりツキに恵まれたのでしょう、優勝させて頂きました。実は近所の方々とのマージャンは負けてばかり十四回生の私は八十四歳となりゴルフは足腰が駄目、マージャンも頭脳が駄目かと少々ショゲておりましただけに、ツキさえすればと活気をあたえられ、うれしき事でございました。市ヶ谷の会場は我家より小一時間、足腰丈夫に、あと何回通えます事でしょう。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。常に会の運営をして下さる若きリーダーの中村様のご尽力あっての事、今後とも主婦の社会参加の御力になって頂きたいと御願い申し上げ、御礼まで申上げます。



（平成二十年四月二十三日実施）

準優勝　中村左都子（7―2）
三等　中島　久子（7―2）
ワカバ会賞　多田　洋子

第25回ワカバ会親睦ゴルフ

8―2　鈴木　幹也

今年も恒例のワカバ会親睦ゴルフ会が9月5日、晴天の軽井沢72ゴルフ場、南コースで18名のワカバ会員が参加、盛大に開催された。4日程続いていた雨は当日には止み、気温も25度前後、絶好のゴルフ日和に恵まれて一日楽しく和気藹々、全員無事18ホールを完走した。南コースは全ホールの半分以上10ホールに池が配置され、又前日迄の雨の影響で長く伸びたラフや湿ったフェアウエーの芝状態の為「池ポチャ」や「ダフリ」に悩み皆スコアーを崩した。私のドライバー・ショットは乱れ気味で「水難」もあったが、幸いにアプローチパットが好調で前半43後半48で終了。ダブル・ペリア方式の幸運なハンディと皆さんの不調に助けられて図らずも優勝の栄誉を頂く事になった。

母校同窓会山荘の維持運営の為始まった本会も今年で25年、益々の発展を祈念すると共に新たな「若い」ワカバ会員の参加を期待したい。



（平成二十年九月五日実施）

今夏のワカバ会軽井沢山荘

軽井沢山荘に泊まって

40―3　矢幡　聡美（大島）

八月上旬に主人と九ヶ月の息子と三人でお世話になりました。山荘は相当古い施設のハズ…でも辿り着いた途端そんな不安は一掃されました。きちんとメンテナンスされ清潔で明るくスタッフの方の気配りも素晴らしく本当に快適なのです。標高が高いため旧軽銀座界隈に比べ非常に涼しく、自然にも恵まれ窓辺であっさり捕まるカブトムシに驚きました。小さな子供連れで恐縮していたのですがスタッフの方や宿泊されている方々にもいろいろ優しい言葉をかけて頂きそのアットホームさがとても嬉しかったです。また山荘は息子が初めてつかまり立ちした私達家族にとっては記念すべき場所にもなりました。こんな素敵な山荘を残して下さった三田の先輩方、運営に尽力されているワカバ会に深く感謝しております。



懐かしい思い出の回路

11―7　黒瀬　久子（南原）
旧職員

寂れていた人造湖レマンの辺りは、湖面を少し残し造園されていた。種々の花木の群れは、これからの山荘での滞在が、より楽しいものになると、予言していた。「八月十七日になるときっとときまって鶯が鳴きやむの」と、別荘循環バスの中で老婦人達が話していた。まだ間に合うと私は思った。落葉松の坂道。懐かしの山荘が見えた。この山荘存続のために紆余曲折の努力を同窓会の方々が重ねて下さったお蔭で、こうして再び山荘を訪れることが出来、喜びはひとしおである。遥かな山脈を眺め、涼しい緑の風が吹くラウンジでの食事。清潔な設備。心温まる管理人方の対応。それらは、故人となられた先生方や友人達との良い思い出の心の回路とつながり、まさに私の人生のサンクチュアリーともなった。買ったレターセットに描かれた撫子の花が微笑したように思う。

学校だより

副校長　角　順二

今年度から、本校は二度目の重点支援校に指定されました。再度指定される学校はまだそれほど多くありません。

これまでも、大学進学対策を学校経営方針の最重点課題として取り組んでまいりました。その結果、近年にない進学実績をあげたことを昨年度の秋の会報で報告いたしました。

現在は、一回目の指定時以上に学校の教育活動を充実させるべく、さまざまな取り組みを開始しているところです。

その一連の取り組みのひとつとして、六月十六日にワカバ会及び卒業生の皆様の協力を得てキャリアガイダンスを実施いたしました。各界の第一線で活躍する先輩方から直接、職業や働くとはどういうことかなどについて、多くのことを生徒は学ぶことができました。感謝を申し上げるとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

また、夏休み期間中に、今年度は一学年と二学年の生徒がそれぞれ軽井沢山荘で勉強合宿を実施しました。このような施設を閉鎖する都立高校が相次いでいる中で、自分たちだけで思いっきり勉強できる環境がある本校の生徒は恵まれています。

今後とも本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

ワカバ会が、三田高二年生対象のキャリア・ガイダンスに協力

様々な分野の第一線で活躍する職業人の話を聞くことによって、生徒たちの学習意欲を高め、将来仕事の上で自己実現していくという意識を持ってもらうという目的で、去る六月十六日（月）、五、六時間目に「キャリア・ガイダンス」が実施されました。三田高校からの要請で、九名の卒業生を講師として、ワカバ会からお願いしました。（別表参照）対象となった二年生は、各々興味のある講座に参加して、その後二時間にわたり各講座で、個性的で充実した講義を受けました。（講師敬称略）

講師氏名	職業
有澤　博（19－6）	横浜国立大学工学部教授
市倉　信義（22－6）	税理士
三輪田　真（22－6）	宇宙航空研究開発機構産学官連携部連携推進グループ長
大森　俊之（28－7）	作曲家、編曲家、「エヴァンゲリオン」主題歌編曲
岡本　厚子（矢田堀）（35－3）	字幕、吹き替え翻訳
木下　史青（36－5）	東京国立博物館デザイン室
辛島　清史（36－6）	歯科医
野村　敦司（37－4）	小学館編集者
菅野　元行（38－8）	日本大学理工学部物理応用化学科准教授



生徒の感想（抜粋）

＊今日、先生の話を聞いて、改めて「自分の好きなことをする」ということがわかった。自分がやりたいという目標から→逆算して、今自分がどういう進路に進めばいいのか、何を学べばいいかを考えていくといいというのは、すごく参考になった。

＊職業は自分の可能性を伸ばすものだと考えました。そして、自分の就きたい職業に就けるか、就けないかは、自分の行動力にもかかっているんだ、と改めて思いました。

＊やはり仕事にはやる気と熱意が必要なんだな、と思いました。仕事の内容や楽しさ、やりがい、大変なことなど、詳しいことをたくさん知ることができてうれしかったです。仕事だけでなく、大学のことを聞けたこともとてもうれしかったです。どんな学科があるのか、入試はどんな様子なのかなど、知りたかったことをたくさん教えていただいたので、本当に良かったです。

＊結局、何をするにしても自分の力でやらなければいけないと思いました。これからの人生は本当に自分次第です。できるだけ、自分の限界を超えて頑張っていきたいと思います。



キャリア・ガイダンスに参加して

22－6　三輪田　真

社会人の先輩として、三田高生に話をする機会をいただいた。年齢差を感じつつも、自分の高校時代を思い出しながら、ロケットや衛星の開発の流れ、技術者の仕事の面白さ、さらには自分の進路選択のきっかけなどを話した。生徒たちの眠くなる時間帯ではあったが、真剣な目で聴いていた生徒も多かった。この新しい試みが少しでも生徒諸君の参考になれば幸いである。

先生方の近況

（敬称略・順不同）

校長　森山　晴美

私は停職して十余年になりますが、元気です。小さな古典の講座を幾つか続けるほか、短歌も続け、昨年歌集『雲南』を出しました。

副校長　飯山　昌幸

東京タワーをテレビで見るたびに、三田高校を思い出しています。

事務・図書室　山田　惠子

何とか元気にて、日曜日の都合がよいときは〝歴史を楽しむ会〟にて古文書などに触れて、仲間の方とたのしんでおります。

数学　有馬　秀雄

今年退職しましたが、引き続き週4日都立美原高校で教えています。

数学　中居　信義

週2回、小中学生の勉強の相手をしています。月に2回太極拳の講習を受講しています。数式処理ソフトの学習をしているところです。

数学　宮崎　正晴

ワカバ会創立80周年おめでとうございます。また、1学区に戻って来まして、日比谷で嘱託をしています。

国語　疋田　雍子

毎日をたのしみに暮らしております。初めての教え子が78歳とお便りいただき、なつかしく思い出しました。どうぞ皆々様、お体御大切にお幸せに。

家庭　阿部　智子

現在、都立白鷗高校で嘱託として授業をしています。ゆとりをもって生徒と一緒に充実した生活をすごしています。

保体　鈴木　英男

王子工業に異動して7年がたちました。三田高が懐かしいです。

保体　田中　充広

三田高校の新制服を見ずに、三田高校を去りました。残念に思っております。

英語　細田　健次

植えて20年目で、庭の椿が一輪だけ花を咲かせてくれました。私には21世紀の「かぐや姫」でした。

二十年待ちて一輪寒椿
燃ゆるがごとく輝き咲けり
（2008・3）

英語　大高　常昭

先日、旧2−6のクラス会に招んで頂き、とても皆さん仲のよいのに感動しました。三田高校は独特の引力をもっています。

生物　八木澤　昭

定年後、早稲田の教職員囲碁同好会に入り、いろいろな大学との対抗戦に参加しました。現在は年2回の2泊3日の囲碁合宿に参加していますが、なかなか体力のいる厳しい合宿です。

化学　神谷　信行

高校で化学を教えた後、大学で40年近く研究・教育を続け、今はリタイアして小さなベンチャー企業で研究を続けています。

社会　黒沢　文貴

引き続いて東京女子大で教えています。ますます書類書きや会議が多く、教育・研究の時間が削られています。時間がゆっくりと流れていた三田高時代がなつかしく思い出されます。卒業生の皆さんも元気でお過ごし下さい。

社会（日本史）　斎藤　光司

冬期を除いて、年間の2/3以上を八ヶ岳山麓で過ごしており、庭仕事を楽しみながら、月に1回ほど近くの山に登っております。

社会（世界史）　植井　明

お蔭様で第二の人生をスタートさせました。（朗読・音読ボランティア）

総会の出欠はがきより転載させていただきました。

同窓会ギャラリー2008出品作一覧　素晴らしい作品をありがとうございました

— 三田高第53回白珠祭出展　2008.9.20（土）・21（日）—　（回順、敬称略）

鍵野	朝子（佐武）	（16−ア）	陶芸	戸田	雅子（宮崎）（19−1） 書
高橋	玲子（佐々木）	（22−イ）	編み物	片山	優子（中山）（19−2） 手作りドレス
井澤	明美（小林）	（23−3）	書	相川	雅子（中尾）（19−3） 書籍
平野	宗子（洞沢）	（2−3）	スウェーデン刺繍	田澤	恵子（吉村）（26−1） シャドーボックス
井上	惠子（上辻）	（6−5）	日本画	黒川	制子（星野）（38−4） グラスリッツェンプリザーブドフラワー
石井	靖彦	（9−4）	カービング	松原	幹子（富塚）（38−8） アートフラワー

平成20年度 企画委員会主催行事

FAX、または電話、メールで
お申し込みください。

＜第6回シャドーボックス＞ ～立体的な絵の作品作り～

期日：2008年11月6日（木）13時～16時
場所：ワカバ会事務局
講師：田澤恵子（26－1）
内容：小作品作り
会費：4,000円（茶菓代・材料費、初めての方は器具の貸し出しをいたします）
申込締切：2008年10月31日（金）　定員15名

お祭りとのふれあい

＜～源氏物語千年紀「源氏物語」ゆかりの地を訪ねる～＞

今年は「源氏物語」千年紀、宇治・京都の源氏物語ゆかりの地を訪ねます。
期日：2008年10月10日（金）― 無事終了いたしました

＜第16回室内ゲーム大会のおしらせ＞（健康麻雀）

期日：2009年4月22日（水）10:50～17:00
場所：新樹（Tel 03－3264－7093）
講師：健康麻雀指導員・田中正道先生
会費：4,500円（会場費、昼食代、賞品代他）
申込締切：2009年4月4日（土）定員24名先着順

開催16年を迎える大会は、どんなメンバーの方が参加して下さるか楽しみです。

申込み：ワカバ会事務局または
中村左都子（7－2）（03－3481－0823）

☆健康麻雀とは、「賭けない・飲まない・吸わない」をスローガンに、21世紀の知的ゲームとして愛され親しまれている頭脳スポーツです。

情報ひろば

◆19回生還暦を祝う同期会のお知らせ

期日：2008年11月16日（日）12：00～14：30
場所：トップオブ赤坂〔グランドプリンスホテル赤坂（赤坂プリンスホテル）40階〕　会費：1万円
2次会：Stage－1（港区赤坂3-11-9 UF3ビル4階）
15：00～18：00　会費：2千円
代表幹事　相川統樹（19－4）
問い合わせ先：03－3414－6628

◆三田フィルハーモニーオーケストラ第18回定期演奏会

日時：2009年5月31日（日）午後
会場：大田区民ホールアプリコ　大ホール
曲目：未定
指揮：久世武志

◆山口悠紀子ソプラノリサイタル

日時：2009年1月23日（金）
18：30開場／19：00開演
会場：横浜みなとみらいホール（小）
入場料：4,000円（全席指定）
プログラム：
古典歌曲（H.パーセル　ひとときの音楽　他）
日本歌曲（山田耕筰　曼珠沙華　他）
オペラアリア
（V.ベッリーニ　歌劇「夢遊病の女」より
“愛する仲間の方々～気もはればれと”他）
ピアノ伴奏：潮崎美夏
お問い合わせ／チケットお取り扱い：
山口悠紀子（和田）（17－5）
Tel & Fax：03－3757－3965
E-Mail：CBC03293@nifty.com

◆三田高校・9人制バレーボール部OG会
――結成のお呼びかけ――

今からちょうど50年前の昭和28年～31年頃に、オセンチ山の下のバレーボール・コートに集まって、部活に汗を流していた私たち。

このたび、初代～四代目部長が意気投合し、北京オリンピックの年でもある今年、ぜひ50年ぶりにバレー部ＯＧ会を結成して、バレー部の会員親睦会を開き、高校生時代を思い出して楽しみましょうということになりました。

第一回の発足会は、今年の12月1日（月）を予定しております。この会報のご案内により、入会ご希望の方は、各学年の部長さんまで、ぜひご連絡下さい。その他、9回生、10回生の方でも、入会ご希望の方は、7－2中村左都子（本多）までご連絡下さい。ご連絡をお待ちしています。

初代部長　梅田静子（5－2）（深沢）
03－3704－1881
二代部長　今村恵美子（6－7）（河合）
0252－83－5136
三代部長　中村左都子（7－2）（本多）
03－3481－0823
四代部長　山本和子（8－1）（磯部）
03－3355－5554

◆「ニューイヤー初夢コンサート」のお知らせ

新春の幕開けに、音楽の都ウィーンの調べをオーケストラの響に乗せ、歌声とマリンバの共演で楽しい1年の幕開けにしてください。

日時：2009年1月11日（日）13：30開演
会場：大田区民ホールアプリコ（蒲田駅）
料金：全自由席　前売2,500円（当日3,000円）
チケットのご予約・お問い合わせ：
TEL　3766－0876　FAX　3766－0983
ユニフィル事務局・初夢実行委員会
田中節子（10－5）（宗近）

理事会報告

平成十九年六月から
平成二十年五月

第一回
（19・6・11　18時30分～20時）
各委員会報告、総会の反省、
「80周年記念総会」について

第二回
（19・9・20　18時30分～20時30分）
各委員会報告、
山荘利用状況・収支決算報告、
会報62号の件、
「80周年記念総会」の件、
「80周年記念コンサート」について

第三回
（19・11・15　18時30分～20時30分）
各委員会報告、「白珠祭」参加、
「お祭りとのふれあい」（奈良飛鳥路）
の報告、
「80周年記念総会」の内容について

第四回
（20・1・25　17時30分～19時）
各委員会報告、評議員会日程、
来年度企画案、会報63号の原稿依頼、
「80周年記念総会」の件、
「80周年記念コンサート」

第五回
（20・3・27　17時30分～19時30分）
各委員会報告、
「大徳寺聚光院伊東別院襖絵」見学
会報告、
「80周年記念総会」の件、
「80周年記念コンサート」について

第六回（20・4・24　18時～21時）
各委員会報告、
20年度予算・活動計画、
会報63号発行・発送の件、
「80周年記念総会」の件、
「80周年記念コンサート」

第七回（20・5・22　18時～20時30分）
「80周年記念総会」について

第八回（20・6・3　18時～20時）
「80周年記念総会」について

評議員会（20・5・10　14時～）
評議員数62名。出席者20名、
委任状27名　合計47名（過半数）
平成19年度事業報告・決算報告、
平成20年度事業計画・予算案並びに
「80周年記念総会」内容と
「80周年記念コンサート」の件が
承認された。

委員会報告

総務委員会

本年度は、6月8日（日）に「創立80周年記念総会」が、盛会裡に無事終了いたしました。

委員長　竹内　和世（5―4）
鈴木美智子（9―3）
内堀りえ子（24―1）
平山　孔嗣（29―2）

企画委員会

企画委員会では、ワカバ会の会員の誰もが一人で、自由に、心配なく、安心して気楽にご参加いただけるプランを左記のとおり計画しておりますのでご参加下さい。

☆春には
第16回室内ゲーム大会（健康麻雀）
☆夏には山荘を利用した行事
①8月上旬　第5回音楽会の夕べ
②9月上旬　第26回ゴルフ大会
☆秋には
①9月下旬　第6回母校白珠祭参加
会員の皆さんの手作り作品の展示
②10月上旬　第4弾お祭りとのふれあい。～福岡を訪ねる～
☆冬には
①11月上旬　第6回シャドーボックスの講座
②新企画
3月下旬　開港150周年に沸くヨコハマを訪ねて

委員長　中村左都子（7―2）
桐生　郁子（4―1）
宇野　修平（8―2）

事業運営委員会

軽井沢山荘は本年も新館洗面所床全面改修、浴室脱衣所扇風機取付、浄化槽給気送風機交換、除湿機追加設置などの改修工事完了後7月12日にオープンしました。

四年目を迎えた三田高生の利用は1年生全員のホームルーム合宿、1・2年生の勉強合宿なども予定通り行われ、延宿泊者は429名（昨年381名）で一昨年並みに戻りました。これはワカバ会笠原会長から校長宛に山荘の安定的継続利用の要望書を提出した事も一因かと思われます。恒例のPTA日帰り見学会（36名）も挙行されました。

一般利用者は昨年並みの335名で、山荘コンサート・親睦ゴルフ会も予定通り行われ、昨年の様な台風によるキャンセルや山荘閉鎖も無く9月15日に無事閉荘しました。

大田区鵜の木の駐車場はガソリン代高騰による車離れを危惧しておりましたが、空車分が2台から5台に増加（9月末）。山荘の運営赤字を駐車場の売上げで補填しておりますので、今後が心配です。

委員長　山口謙一郎（8―1）
竹内　和世（5―4）
三輪田　真（22―6）
西上原節子（24―5）

平成19年度　決　　算　・　平成20年度　予　　算

自平成19年4月1日～至平成20年3月31日　自平成20年4月1日～至平成21年3月31日

科　　目	平成19年度予算額	平成19年度決算額	平成20年度予算額
収入の部			
1. 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	50,000	149,982	150,000
基本財産配当収入	1,500	17,447	20,000
2. 会費・入会金収入			
入会金収入	1,370,000	1,370,000	1,345,000
維持会費収入	9,500,000	9,130,000	9,500,000
3. 事業収入			
山荘事業収入	5,000,000	4,428,658	5,000,000
総会会費収入	500,000	447,000	2,450,000
80周年記念事業収入			2,000,000
商品売上収入	300,000	298,985	300,000
4. 寄付金収入			
寄付金収入	0	3,000	0
5. 雑収入			
受取利息収入	10,000	68,005	70,000
雑収入	25,000	212,496	30,000
6. 特定預金取崩収入			
記念事業積立金取崩収入	3,1500,000	2,664,465	5,000,000
山荘積立金取崩収入	0	1,521,665	0
7. 繰入金収入			
駐車場会計山荘繰入金収入	2,500,000	3,207,052	2,500,000
駐車場会計繰入金収入	2,500,000	1,397,518	2,500,000
当期収入合計　(A)	24,906,500	24,916,273	30,865,000
前期繰越収支差額	3,669,449	3,669,449	3,267,783
収入合計　(B)	28,575,949	28,585,722	34,132,783
支出の部			
1. 事業費			
総会費	1,700,000	1,710,824	5,000,000
会報発行費	4,800,000	4,812,903	5,000,000
山荘運営費	7,800,000	6,736,715	6,900,000
山荘維持費	——	898,995	900,000
行事費	120,000	141,326	150,000
80周年記念事業費	3,150,000	2,664,465	4,300,000
商品企画費	260,000	204,649	210,000
2. 管理費			
給与手当	3,700,000	4,731,709	4,800,000
旅費交通費	120,000	116,970	150,000
通勤費	700,000	717,740	700,000
消耗品費	100,000	77,958	80,000
通信運搬費	230,000	229,958	230,000
印刷製本費	130,000	126,000	130,000
会費徴収費	450,000	431,130	450,000
情報管理費	1,200,000	1,248,155	1,250,000
会議費	300,000	351,676	350,000
交際費	15,000	0	0
雑費	130,000	116,766	120,000
寄付	0	0	0
3. 固定資産取得支出			
什器備品費	0	0	0
4. 予備費支出			
予備費	1,500	0	145,000
当期支出合計　(C)	24,906,500	25,317,939	30,865,000
当期収支差額　(A) － (C)	0	－ 401,666	0
当期繰越収支差額　(B) － (C)	3,669,449	3,267,783	3,267,783

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会本会計、駐車場特別会計等の、予算・決算の業務や日常の出納・記帳などを事務局の方とご一緒に行っております。

本年も会報と共にお送りした維持会費納入にご協力いただいた方々のお名前をお礼の心と共にお送りいたしました。

本年は当会の80周年の記念総会を盛会のうちに終ることができ、ひとえにご協力のたまものと有難く存じております。

維持会費の納入はあくまでも任意のものではありますが、次の世代に向けてなお一層のご協力をお願いするとともに、この会が次の世代にむけて、健全な発展ができるための大切な財源として欠かせないことをお認めいただきたいと存じております。

委員長　茨木　万理（19―エ）
片山　優子（19―2）
上田みつ子（28―5）
平山　孔嗣（29―2）

広報委員会

例年通り、「わかば」63、64号の発行を行いました。今年は同窓会発足の節目の80周年で、記事の方もこの話題を中心に編集いたしました。

ワカバ会では皆様のご意見や近況報告等をお待ちしています。今後ともよろしくお願いします。

委員長　田中　浩（32―5）
田村　和子（10―5）
津田　一哉（32―8）

パソコン委員会

今年は、事務局内のハードウェアで2点交換を行いました。一つはLANのhubの交換、そしてもう一つはPCの交換です。事務局内の仕事の処理に支障が出ておりましたので、二つとも老朽化で故障したものを新品と交換いたしました。

パソコン委員会では、主に事務局内での業務処理の向上のためにハードウェア面での充実化を必要に応じて行っております。

委員長　平山　孔嗣（29―2）
三輪田　真（22―6）
田中　浩（32―5）

三田わが町②

幽霊坂

三田界隈には、坂、それも急坂が多いのですが、どの坂にも心惹かれる名前がついています。魚藍坂、蛇坂、聖坂、綱坂（酒呑童子や羅生門の鬼退治で有名な源頼光の四天王の一人、渡辺綱にちなんだ坂）等々。

ところで、国道一号を三田方面から魚藍坂下に向っていくと、交叉点の少し手前に「幽霊坂」という坂があります。昔から、この辺りに寺が多いのが、その名のゆえんでしょうか。周辺は、日中でも深とした住宅街で、賑やかになるのは、御田小の登下校時くらいです。

もう五十年近く前のことですが、薄暗くなってからこの坂を見上げると、中腹にある寺に赤い灯がともっている様子が何とも不気味で心細く、暗くなってからは決してここを通るまい、と子供心に誓ったものです。

幸か不幸か、ここで幽霊を見たという話は聞きませんが、その名と共に、いつまでも残っていてほしい場所の一つです。

追悼　謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略）

	卒業回・組	逝去年月
旧職員	平成	19. 2
旧職員		19. 1
旧職員		20. 8
〈第六〉	1 － B	5. 9
	1 － C	20. 9
	2 － C	18. 7
	3 － D	17. 11
	4 － アウ	20. 7
	4 － エ	20. 2
	4 － エ	19. 12
	4 － エ	20. 6
	5 － エ	19. 12
	6 － ア	20. 2
	6 － ア	19. 12
	6 － オ	19.
	7 － ア	20. 1
	7 － エ	19. 11
	7 － エ	20. 4
	7 － オ	20. 4
	7 － オ	20. 8
	8 － エ	20. 2
	9 － エ	20. 9
	9 － オ	20. 1
	10 － イ	20. 2
	11 － イ	20. 7
	12 － ウ	20. 6
	14 － ア	19. 6
	14 － ア	20. 5
	14 － オ	19. 11
	15 － イ	19. 11
	15 － オ	20. 4
	16 － エ	20. 3
	16 － オ	20. 3
	16 － オ	20. 1
	16 － オ	20. 5
	17 － ア	19. 10
	17 － イ	19. 4
	18s － ア	20. 5
	18s － イ	18. 7
	19 － イ	20. 8
	20 － ア	20. 5
	20 － エ	20. 5
〈三田〉	2 － 1	20. 3
	2 － 1	19. 12
	2 － 2	16. 4
	3 － 4	20. 4
	4 － 4	20. 6
	5 － 4	18. 3
	5 － 6	20. 1
	6 － 7	20. 4
	7 － 3	20. 3
	9 － 6	15.
	13 － 3	20. 4
	13 － 5	17. 4
	17 － 6	19. 11
	19 － 3	16. 7
	20 － 5	
	22 － 3	20. 1
	25 － 2	
	25 － 2	18.
	25 － 3	20. 8
	26 － 3	20. 5
	32 － 6	19. 7
	36 － 7	18. 4
	49 － 4	20. 7

			卒業回・組	逝去年月
品田	一良			
山口	博郷			
塩澤	利雄			
福島	栄子	（武田）		
中西	貞子			
斎藤	富美	（松岡）		
府川	節子	（鈴木）		
吉村	寿子	（木下）		
加藤	シ俊	（村田）		
竹下	久子	（書上）		
浜野	静は	（鈴木）		
小池	つ子	（田中）		
岸井	秀子	（浅井）		
川平	千世	（田口）		
町田	鶴枝	（杉浦）		
上田	恵子	（国枝）		
熊原	良文			
萩橋	真佐子	（藤田）		
土	澄子	（北条）		
新元町	武子	（飯島）		
深下	賀子	（平野）		
森川	幸子	（矢野）		
中路	冨美子	（森津）		
淡気	定子	（馬場）		
和波	亘	（松尾）		
斯野	和子	（永野）		
牧本	忠子	（早瀬）		
松田	延子			
横野	慶子			
矢井	美智子	（小野）		
新沢	篤子	（宮下）		
所本	貴久子	（佐藤）		
杉				

御寄付御礼

♣第六１－Ｄ　肥田鶴子様から 10,000 円
♣「２イの会」（幹事：山本温子様）の皆様から
3,471円

――以上のご寄付をいただきました。ワカバ会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

（所在地：大田区鵜の木 3－32－10）現在空きがございます。お近くにお住まいの方は、ご利用ください。駐車料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。

事務局だより

◆事務局では、皆様のプライバシーを守るため、名簿の申し込みや問い合わせに対しては、慎重に対応しております。

クラス会や同期会開催時に、幹事の方へ有料で名簿、宛名ラベルを提供しております。ご利用の際は、事務局に用意している申込書にご記入の上、お申込みください。なお、申込書はホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。

◆前号の会報で、卒業アルバムの寄贈をお願いしましたところ、第六2、22 回、三田5、11、19、25、28、37 回生の方々からご協力いただきました。ありがとうございました。引き続き、第六1回、三田3、4、7、8、30、33 ～ 35、39、41 ～ 48、50、56 ～ 58 回生のアルバムをお持ちで、寄贈していただける方は、事務局までご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

第六高女　一回生　肥田鶴子さん（旧姓・小塚）ワカバ会事務局ご来訪!!　～H20.5.16（金）～



今年の５月、事務局に三田の大先輩でいらっしゃる第六・1回生の方が、ご次男ご夫妻と一緒に訪ねてくださいました。御年 98 歳になられるそうですが、とてもお元気で聡明な美しい方で、お目にかかれて光栄でした。

また、丸山先生とのエピソードなどもユーモアたっぷりにお話してくださり、とても楽しいひとときをご一緒でき、私たちも幸せでした。

これからの年月、肥田さんのように歳を重ねられたら素敵だなぁと、事務局一同、目標にしたい大先輩の存在に感激した１日となりました。

なお、肥田さんは長い間、謡（観世流）の稽古を続けてこられましたが、このたび、その謡本全 114 冊を、どなたかにお譲りしたいと希望しておられます。

関心のある方はワカバ会事務局までご連絡ください。

編集後記

♠今回、ワカバ会発足 80 周年を迎え、記念総会を大盛況のうちに終えることができてほっとしております。

広報誌「わかば」が会員の皆様同士を結ぶ架け橋に少しはなっているという実感が得られ、嬉しく思います。これからもよろしくお願いいたします。（T）

♠80 周年記念総会はスケールの大きい会でしたので、準備も大変で当日至らない点も多々あったかと思いますが、沢山の方においでいただくことができて、感謝の気持で一杯です。来年の総会で、また皆様にお会いできるのを楽しみにしております。（M&N）

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは　電話・FAX・e メールにて、事務局まで



New
折りたたみトートバック
全 5色
各 700円
31× 37× 9cm（広げた時のサイズ）



バンダナ 各 500円

← 柄が変わりました



（革製）携帯ストラップ
左：パールホワイト
右：パールブラック
各 500円



ブロンズ　シルバー
携帯ストラップ 各300円



クリアファイル
各 50円



たたむとこんなに小さくなります

New



タオルマフラー 各 800円
5色：カラシ・ラベンダー・アプリコット・赤紫・グレー



タオルハンカチ
1 枚 350円
3 枚 1,000円
5 枚 1,500円



レターセット 各 100円
1 筆箋　各 100円



シャープペン（ブルー）　100円
ボールペン（ピンク・水色）各100円
シャープペン1 ボールペン 2（3本セット 250円）